

とちぎっ子通信

こどもの健やかな成長を育むために 第9号

令和4年新年号



新しい年に願うこと



2022年 穏やかに新年が明けました。

子どもたちに、今年頑張りたいことを紙の絵馬に書いてもらっています。

「勉強」「縄跳び」「サッカー」と思い思いに書いてくれます。

「冬休みに楽しかったことはありましたか?」と聞くと、「おじいちゃん、おばあちゃんの家に行った」、「いとこと遊んだ」、「お年玉をもらったこと」、「スキーに行った」と話してくれます。

1年前の冬休みは本当に自粛だったから、出かけることも、親戚に会うこともほとんどできませんでした。それに比べると今年は、身近な人には会える様子でしたが、遠くまで出かけることはまだ出来そうにありません。

冬休みに家族で旅行したり、遊びに出かけたり、人と会うことも子どもたちには楽しい経験であり、心の成長につながります。楽しいこと、うれしいことで満足して心が豊かになれば、新しいことにチャレンジもして、頑張ろうという気持ちの土台になります。

今、不安定な世の中ですが、子どもたちが日々の生活の中にも「楽しいこと」「楽しみなこと」を感じる事ができるように心がけ、小さな工夫を積み重ねていくことが大切です。子どもたちが少しでも安心して、頑張る心を持ち続けられるように、未来の「楽しみな自分」のイメージを形作って行くことが出来るようにと心に願いながら、真摯な気持ちで診療に励んで参りたいとスタッフ一同、新年に思いを新たにしております。

とちぎっ子発達クリニック 院長 小黑範子



あそびのひろば

日本には昔からたくさんのお正月の遊びがあります。お父さんやお母さんもこどもの頃いろいろ遊んだのではないのでしょうか。楽しい思い出とともに伝統を継承していくことも大切なことですね。世代を超えて、ご家族やお友達と遊べる「あそび」をご紹介します。たくさん笑いましょう。



アンパンマンなど好きなキャラクターで作ってみてはいかがですか。かおを認識できる1才くらいでも楽しめます。笑う門には福来る!



かるた遊びは、ことばや文字、絵に興味が高まります。

手作りけん玉は、紙コップやペットボトルでも作れるよ



おしえて！公認心理師さん

発達の検査ってなあに？

知能検査・発達検査について

当クリニックで実施している、知能検査(年齢の小さいお子さんは発達検査)について説明します。

当クリニックでは、診察や訓練の経過の中で、「検査の実施が必要」と判断されたお子さんに対して、知能検査(発達検査)を実施しています。

知能検査(発達検査)を実施することで、お子さんの知的発達の段階や、得意不得意などについて理解が深まります。

また検査を実施している際には、検査の項目だけではなく、例えば検査用具を目にした時のお子さんの反応や検査用具の扱い方、検査者の説明や声かけに対する応答の様子などについて注意深く行動観察しています。

検査中に観察されたお子さんの様子については、今後の支援の方向性を検討する際の大切な情報として活かしています。

検査結果については、検査の数値を表にして、保護者の方にお伝えしています。

※数値や口頭での説明とは別に、「心理所見」の発行を希望される場合は別途費用がかかります。

現在、当クリニックで実施している知能検査(発達検査)については、主に以下の4種類になります。

知能検査	WISC-IV(ウィスク フォー)
	田中ビネー知能検査 V(ファイブ)
発達検査	新版 K 式発達検査2020
	遠城寺式・乳幼児分析的発達検査



<あとがき>

今年は動物の意では「虎」、干支の意では「寅」です。虎は、強く勇ましいですが、ネコ科で実は泳ぎが得意だそうです。また「寅」の文字は、「まっすぐに伸ばす、引っ張る」という意味があります。中国では、干支を植物が循環する様子をあらわします。寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態とされています。新年はスタートライン！何ごとにも果敢にトライしながら、一步を踏み出していきましょう。



とちぎっこ
発達クリニック

〒329-0502 栃木県下野市下古山 3294-1

TEL 0285-32-6502

<https://tochigikko.com>